

# 新春のご挨拶



西日本電信電話株式会社 代表取締役社長 小林 充佳

新年あけましておめでとうございます。

平素よりNTT西日本グループの事業運営に、格別のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私たちNTT西日本グループは、様々な社会課題に対して、先頭に立ってICTの力で解決をしていく「ソーシャルICTパイオニア」をめざし、地域から愛され、信頼される企業に変革し続けることで、地域を元気にしていく「ビタミン」のような役割を担っていきたいという考えのもと、様々な取組みを進めてまいりました。

現在、ソーシャルICTパイオニア活動をさまざまな地域で展開しておりますが、各地域には特有の課題があり、優先的に取り組むべき項目も異なります。そのため、昨年9月に「地域活性化プロジェクト」を立ち上げ、西日本エリア30府県ごとに、自治体や地場の企業、住民の方々とも密なコミュニケーションを図りながら、その地域にマッチしたソーシャルICT活動を進めております。

また、昨今、企業のお客さまを中心に、AIやRPAのご要望が増えてきています。一方、どのような業務にAIやRPAを適用すればいいのか、わからないというお客さまの声も少なくありません。そのため昨年6月に「おまかせAI働き方みえ〜」という業務内容が見える化し、働き方改革をサポートするサービスをリリースいたしました。社員がどのような仕事のやり方をしているのか実態を浮き彫りにすることで、AIやRPAをどの業務に適用するのが効果的なのかも把握しやすくなります。このように、お客さまの悩みや、やりたいことをサポートし、そこに光が紐づくというモデルを確立させたいと考えております。

新領域ビジネスについても、ICTに紐づいた周辺ビ

ジネス、いわゆるBPOビジネスを積極的に開拓していくため、「ソーシャルイノベーション推進本部」を立ち上げました。ICT周辺には、たくさんの可能性があると考えており、ICTを利用しているお客さまから、ICTソリューション以外のご要望をいただき、それがビジネスとして広がるよう取り組んでまいります。

一方、ICTとは直接関係ないようなビジネスにも触手を伸ばしており、NTTソルマールで提供している電子コミックやオンラインゲームの販売についても積極的に広げていきたいと考えております。

更には、効率的な経営の推進に向け、昨年7月に「デジタル改革推進本部」を立ち上げ、デジタルトランスフォーメーションを着実に遂行してきました。AI等の活用により人手や紙を介してやりとりしていた業務をすべてデジタルデータ化し、自動で流れるような仕事の仕方に変えるとともに、最終的にはデータドリブンでカスタマセントリックな仕事を実践できるよう進めてまいりたいと思います。

そして、お客さまやパートナー企業の「安心・安全・信頼」を確保し、「コンプライアンスの徹底」・「事故の根絶」へ向けては、引続きしっかり取り組んでまいります。

本年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催の年となりました。西日本エリアにおいては静岡で自転車競技が開催され、日本中が熱狂する夏がやってきます。通信インフラ整備、セキュリティ対策という分野でも大きな貢献ができるよう尽力してまいります。

最後になりますが、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。